

- 問1 アメリカ合衆国のサンフランシスコ近郊で、情報技術産業（ICT）が世界をリードする規模にまで発展した主な背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 五大湖周辺で産出される鉄鉱石や石炭を利用し、大型の計算機を製造するのに適していたため。
 2. メキシコ湾沿岸の広大な土地を活用し、安価な労働力による大規模な工場建設が進んだため。
 3. 大学や研究機関と企業が連携し、新しい技術やサービスを生み出す仕組みが整っていたため。
 4. 温暖な気候を求めて、北東部のスノーベルトから自動車産業の熟練工が大量に移住したため。
- 問2 アメリカ合衆国の北東部から中西部、特に五大湖周辺に集積する自動車工業について、統計上の特徴や貿易の動向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 東京都公立入試 類似）
1. 広大な国土のため自動車の需要は高いが、自由貿易協定による関税の影響を避けるため、隣国への輸出よりもアジア市場を優先している。
 2. かつては五大湖周辺で盛んであったが、現在はすべての工場がサンベルトへ移転したため、北東部での生産は完全に行われなくなっている。
 3. 国内産業を保護するため特定の一国のみの企業が生産を独占しており、主にアフリカなどの発展途上国への輸出に力を入れている。
 4. 人口千人あたりの自動車保有台数が約860台と非常に高く、自由貿易協定を活用してカナダやメキシコなどの隣国への輸出を盛んに行っている。
- 問3 アメリカ合衆国が、G7（主要7か国）の中でも突出した経済規模を持ち、世界最大の国内総生産（GDP）を維持している要因として、その地理的・社会的特徴をふまえて説明したものとして適切なものを次から選びなさい。（2024年 広島県公立入試 類似）
1. 移民の受け入れなどにより人口が増加傾向にあり、広大な国土と資源を背景に、巨大な国内消費市場と産業基盤を形成しているため。
 2. 人口密度が世界で最も高く、限られた土地を有効活用するために高層ビルでの垂直的な農業を国の主力産業としているため。
 3. G7の中で最も国土面積が狭い分、都市部に高度な情報通信技術が集中し、効率的な工業生産を特化させているため。
 4. 19世紀以降、北アメリカ大陸のすべての国家を統合したことで、他国との貿易を一切必要としない自給自足の体制を確立したため。
- 問4 北アメリカ大陸の中央部などで見られる、360度回転する散水機（スプリンクラー）を用いて大規模に耕作地を潤す灌漑農業方式を何といいますか。空から見ると耕作地がきれいな円形に並んで見えるのが特徴です。（2025年 北海道公立入試 類似）
1. センターピボット方式
 2. オアシス農業
 3. 等高線耕作
 4. 棚田
- 問5 2020年におけるG7（主要7か国）の統計資料において、人口が約3.3億人、国土面積が約983万平方キロメートル、国内総生産（GDP）が約20.8兆ドルという、いずれの項目でもG7の中で最大の値を示している国として正しいものを次から選びなさい。（2024年 広島県公立入試 類似）
1. ドイツ
 2. イギリス
 3. カナダ
 4. アメリカ合衆国
- 問6 アメリカ合衆国の北緯40度付近における地形の構成について、西海岸（太平洋側）から東海岸（大西洋側）へ向かった際の地形の変化として正しいものはどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 中央部に北アメリカ大陸で最も高い山脈がそびえ、その東西の両側に標高の低い平原が広がっている。
 2. 標高が高く険しいロッキー山脈から、中央の広大な平原を経て、東部の比較的低いアパラチア山脈に至る。
 3. 標高の低いアパラチア山脈から、中央の広大な平原を経て、西部の険しく高いロッキー山脈に至る。
 4. 西部に広大な平原が広がり、中央部から東部にかけて徐々に標高が高くなってロッキー山脈に至る。
- 問7 アメリカ合衆国の農業地域を区分した統計資料において、ある地域では牛の飼育頭数が1270万頭、綿花の生産量が751千トンとなっており、他の地域に比べてこれら2つの指標が際立って多いという特徴があります。この地域で行われている農業の現状について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2024年 奈良県公立入試 類似）
1. 降水量の少ない内陸のグレートプレーンズに見られる特徴であり、大型の機械を用いて、春小麦や冬小麦を広大な面積で栽培している。
 2. ミシシッピ川流域の中央平原から東部に見られる特徴であり、トウモロコシや大豆を栽培し、それを飼料として豚や牛を肥育するコーンベルトと呼ばれている。
 3. 五大湖周辺から大西洋岸にかけての北東部に見られる特徴であり、冷涼な気候と大都市に近い立地を活かして、乳牛を飼育し生乳や乳製品を出荷する酪農が盛んである。
 4. メキシコ湾沿岸に近い南部に見られる特徴であり、かつては綿花の単作が中心だったが、現在は牛の飼育や大豆、果樹などを組み合わせた多角的な農業への転換が進んでいる。
- 問8 北アメリカ大陸の西海岸、サンフランシスコ周辺の地域では、世界の経済や生活に大きな影響を与える産業が発達しています。この地域の産業的特徴について述べた文として、最も適切なものを選択しなさい。（2024年 奈良県公立入試 類似）
1. 五大湖周辺に位置し、自動車産業の集積によって世界最大の工業地帯として発展した。
 2. 北緯37度以南の温暖な気候を背景に、航空宇宙産業や石油化学工業が急速に成長した。
 3. 情報通信技術（ICT）に関連する企業や研究機関が集積し、先端技術産業の中心となっている。
 4. 豊富な石炭と鉄鉱石を利用した鉄鋼業が古くから発展し、伝統的な重工業地域を形成している。
- 問9 アメリカ合衆国の人口構成において、カリフォルニア州、アリゾナ州、テキサス州といったメキシコと国境を接する南西部の州で、人口の10%以上を占めている、スペイン語を話す中南米からの移住者やその子孫を何と呼びますか。（2017年 大分県公立入試 類似）
1. ヒスパニック
 2. 日系アメリカ人
 3. アフリカ系アメリカ人
 4. イヌイット
- 問10 アメリカ合衆国のデトロイトが、自動車産業の拠点として発展した地理的な背景を説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. 周辺に広大な綿花地帯が広がっており、タイヤの原料となる天然ゴムの生産が盛んだったため
 2. 太平洋に面しており、日本などのアジア諸国へ製品を輸出するのに最も適した港町だったため
 3. メキシコとの国境に近いサンベルトに位置し、安価な労働力を大量に確保できたため
 4. 五大湖の水運などを利用して、原料となる鉄鋼などを確保しやすい環境にあったため
- 問11 アメリカ合衆国の人口構成において、メキシコ国境に近いカリフォルニア州やテキサス州、あるいはフロリダ州などで特に高い割合を占めている集団の名称として、最も適当なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. スラブ系
 2. イヌイット
 3. アングロサクソン
 4. ヒスパニック
- 問12 アメリカ合衆国において、メキシコや中央アメリカなどのラテンアメリカ地域から移住してきた、主にスペイン語を話す人々とその子孫を何と呼びますか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
1. アジアンアメリカン
 2. ネイティブアメリカン
 3. ヒスパニック
 4. アフリカ系アメリカ人